



10月に入り、朝夕少し冷え込む日が続き、少しずつ秋めいてまいりました。この時期から、TVではインフルエンザの情報が流れはじめ、今年も早めの感染症予防対策が必要となりそうです。

園では、先日の「うんどうかい」をはじめ、親子遠足、青組さんは淡路さつま芋掘りのお泊り保育があります。

また、12月には「おゆうぎ会」もあり、行事盛り沢山です。子どもたちの体調など把握しながら、保育していきます。

ご家庭でも、無理なく過ごすようご協力をお願いします。



### 身体測定

9日（火）赤・黄・青組  
10日（水）白・桃組



### 「10月10日は目の愛護デー」～目をたいせつに～

2つの10を横に倒すと、まゆと目の形に見えることから、10月10日は目の愛護デーとされています。この機会に、子どもの「目」の健康をあらためて見直してみましょう。

#### 〈目の健康のためにかかりつけ医を持ちましょう〉

##### ⑥⑥早期発見したい弱視

弱視は、視神経や脳に病変などの異常が見られないのに、視力の発達が妨げられ、視力の低い状態をいいます。

##### ⑥⑥早目の受診をおすすめします

弱視をはじめとした目の屈折異常は、3歳児ごろに検診を受け、早期発見することが大切です。また、家庭でも時々、子どもの目を後ろから片方ずつ手で隠してみ、両方とも同じように見えているかを確認してみてくださいはでしょうか。

子どもの見え方に不安がある方は、必ず眼科へ行きましょう。



#### インフルエンザの予防接種について

今年度は10月15日より開始するようです。

ワクチンの効果が現れるまで2週間ほどかかりますので、11月中旬までに摂取することをおすすめします。

予防接種したから、インフルエンザにかからないというわけではありません。かかりにくくなったり、重症化せずにすむのが予防接種の利点です。

また、日頃からの手洗いうがい、睡眠も予防策のひとつです。

